

【2014年3月期決算記者会見資料】

①契約の状況等

		2013年3月期	2013年9月期	2014年3月期
新契約年換算保険料	(百万円)	14,807 ( 295.5%増)	9,348 ( 104.6%増)	19,908 ( 34.4%増)
うち第三分野	(百万円)	0 (1,851.0%増)	0 ( —)	1 ( 250.5%増)
保有契約年換算保険料	(百万円)	175,364 ( 2.2%増)	156,856 ( 8.9%減)	136,147 ( 22.4%減)
うち第三分野	(百万円)	3,738 ( 9.3%減)	3,573 ( 9.2%減)	3,390 ( 9.3%減)
保険料等収入	(百万円)	196,740 ( 195.0%増)	113,509 ( 69.0%増)	239,777 ( 21.9%増)
うち個人保険分野	(百万円)	196,505 ( 197.9%増)	113,287 ( 69.0%増)	239,274 ( 21.8%増)
うち団体保険分野	(百万円)	208 ( 70.7%減)	88 ( 22.3%減)	169 ( 18.7%減)
新契約高	(百万円)	192,072 ( 267.9%増)	115,889 ( 88.7%増)	244,969 ( 27.5%増)
保有契約高	(百万円)	2,040,052 ( 2.6%増)	1,961,102 ( 1.2%増)	1,848,515 ( 9.4%減)
解約・失効高	(百万円)	96,679 ( 4.7%増)	93,606 ( 133.1%増)	174,654 ( 80.7%増)
解約・失効率	(%)	4.86 ( 0.47% <sup>*</sup> イト上昇)	4.59 ( 2.57% <sup>*</sup> イト上昇)	8.56 ( 3.70% <sup>*</sup> イト上昇)

※保険料等収入以外は個人保険+個人年金保険であります。

※括弧内は前年同期比増減率(解約・失効率は増減%<sup>\*</sup> イト)であります。

※年換算保険料の対象は個人保険と個人年金保険であります。年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額等であります(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)。

※保険料等収入は損益計算書ベースであります。

※保険料等収入のうち個人保険分野は個人保険+個人年金保険、団体保険分野は団体保険+団体年金保険の合計保険料であります。

※解約・失効は、失効後復活契約を失効と相殺せずに算出(2013年9月期の解約・失効率は年換算前)しております。

②資産の状況等

		2013年3月末	2013年9月末	2014年3月末
総資産	(百万円)	1,541,553 ( 10.2%増)	1,482,376 ( 5.8%増)	1,393,592 ( 9.6%減)
実質純資産額	(百万円)	126,004 ( 31.2%増)	124,270 ( 25.7%増)	124,925 ( 0.9%減)
実質純資産額/一般勘定資産	(%)	18.8 ( 0.1% <sup>*</sup> イト上昇)	16.2 ( 1.4% <sup>*</sup> イト低下)	14.1 ( 4.7% <sup>*</sup> イト低下)
ソルバンス・マージン比率	(%)	648.4 ( 94.7% <sup>*</sup> イト上昇)	886.1 (360.8% <sup>*</sup> イト上昇)	1,051.2 (402.8% <sup>*</sup> イト上昇)

※括弧内は前年同期比増減率(実質純資産額/一般勘定資産及びソルバンス・マージン比率は増減%<sup>\*</sup> イト)であります。

③基礎利益・逆ざや・利回り等

		2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期予想
基礎利益	(百万円)	30,644 ( 529.8%増)	26,971 ( 12.0%減)	4,000

※括弧内は前年同期比増減率であります。

		2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期予想
逆ざや額(正值の場合は順ざや額)	(百万円)	△ 2,557 ( 170増)	△ 2,812 ( 254減)	△ 3,000

※括弧内は前年同期比増減率であります。

		2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期予想
基礎利益上の運用収支等の利回り	(%)	1.31 ( 1.17)	1.25 ( 1.18)	1.2程度 ( 1.1程度)
運用利回り(一般勘定)	(%)	△ 1.27 ( 1.07)	△ 0.68 ( 1.07)	0.8程度 ( 1.0程度)
平均予定利率	(%)	1.84 ( 1.75)	1.68 ( 1.64)	1.5程度 ( 1.5程度)

※基礎利益上の運用収支等の利回り及び平均予定利率の括弧内には、外国為替連動型終身保険を除いた数値をそれぞれ記載しております。

※運用利回り(一般勘定)の括弧内には、外国為替連動型終身保険の市場リスクに対するヘッジ取引に係る損益、変額個人年金保険の最低保証リスクに対するヘッジ取引に係る損益、株式等売却益及び満期保有目的の債券売却益(退職給付債務に対応する保有資産の入れ替えの過程における債券売却)を除いた数値を記載しております。

④準備金

		2013年3月末	2013年9月末	2014年3月末
責任準備金(除く危険準備金)	(百万円)	1,421,821 ( 113,717増)	1,364,700 ( 49,185増)	1,276,208 ( 145,613減)
うち一般勘定(除く危険準備金)	(百万円)	552,444 ( 129,963増)	649,613 ( 173,194増)	770,636 ( 218,191増)
うち特別勘定(除く危険準備金)	(百万円)	869,376 ( 16,246減)	715,086 ( 124,008減)	505,571 ( 363,805減)
価格変動準備金	(百万円)	477 ( 50増)	513 ( 69増)	574 ( 96増)
危険準備金	(百万円)	45,617 ( 5,863増)	47,301 ( 4,741増)	39,800 ( 5,816減)
うち危険準備金Ⅰ	(百万円)	8,847 ( 53増)	8,262 ( 553減)	6,130 ( 2,716減)
うち危険準備金Ⅱ	(百万円)	276 ( —)	276 ( —)	1,872 ( 1,595増)
うち危険準備金Ⅲ	(百万円)	36,213 ( 5,854増)	38,496 ( 5,337増)	31,549 ( 4,664減)
うち危険準備金Ⅳ	(百万円)	280 ( 44減)	265 ( 41減)	249 ( 31減)
危険準備積立金	(百万円)	— ( —)	— ( —)	— ( —)
価格変動積立金	(百万円)	— ( —)	— ( —)	— ( —)

※括弧内は前年同期比増減実額であります。

⑤含み損益

		2013年3月末	2013年9月末	2014年3月末
有価証券	(百万円)	30,989 ( 19,874増)	22,466 ( 7,806増)	25,635 ( 5,353減)
うち国内株式	(百万円)	— ( —)	— ( —)	— ( —)
うち国内債券	(百万円)	30,888 ( 19,774増)	22,039 ( 7,379増)	24,597 ( 6,291減)
うち外国証券	(百万円)	— ( —)	— ( —)	— ( —)
うち金銭の信託	(百万円)	100 ( 100増)	426 ( 426増)	1,038 ( 937増)
不動産	(百万円)	— ( —)	— ( —)	— ( —)

※括弧内は前年同期比増減実額であります。

⑥運用実績と計画

		2013年度実績	2014年度計画
国内株式	(百万円)	0減	市場金利の変動に対して資産と負債のキャッシュ・フローの中立化のために最適なポートフォリオを保険商品の特性ごとにあらかじめ定め、運用してまいります。具体的には、確定利付資産によるキャッシュ・フロー・マッチを主体とした運用を行ってまいります。
国内債券	(百万円)	230,769増	
外国株式等	(百万円)	—	
外国債券	(百万円)	—	
不動産	(百万円)	—	

※2013年度実績は資金異動ベースでの増減額を記載しております。

※国内債券は、金銭の信託の設定・解約に伴う資金異動額を含めております。

※不動産は、建物付属設備を除いております。

⑦資産の含み損益がゼロになる水準

		2014年3月末
国内株式(日経平均)	(円)	上場株式を保有していないため算出しておりません。
国内株式(TOPIX)	(円)	上場株式を保有していないため算出しておりません。
国内債券	(%)	0.9程度
外国証券	(円)	外国証券を保有していないため算出しておりません。

※国内債券は新発10年国債利回り換算し、小数点第1位まで算出してあります。

⑧2015年3月期の業績見通し

		2015年3月期予想
保険料等収入	(百万円)	350,000
保有契約年換算保険料	(百万円)	120,000
保有契約高	(百万円)	1,850,000

⑨銀行との資本持ち合いについて

i 銀行からの拠出

		総額
基金(株式)に対する拠出	(百万円)	—
劣後ローン等	(百万円)	—

ii 銀行への拠出

		総額
保有している銀行株(時価総額)	(百万円)	—
劣後ローン等	(百万円)	1,999

※銀行への拠出の劣後ローン等は、劣後債であります。

⑩職員数

		2013年3月末	2013年9月末	2014年3月末
営業職員	(人)	— ( —)	— ( —)	— ( —)
内勤職員	(人)	222 ( 25.5%減)	223 ( 2.6%減)	227 ( 2.3%増)

※括弧内は前年同期比増減率であります。

⑪配当の状況（数値は契約者配当準備金繰入額）

		2013年3月期	2014年3月期
個人保険・個人年金	(百万円)	△ 0 ( 89.7%減)	△ 2 ( 1,258.9%増)
団体保険	(百万円)	— ( —)	— ( —)
団体年金	(百万円)	— ( —)	— ( —)
その他共計	(百万円)	△ 0 ( 89.6%減)	△ 2 ( 1,255.9%増)

※戻入額については△で表示しております。

※括弧内は前年同期比増減率であります。

		2013年3月期	2014年3月期
契約者配当準備金繰入額	(百万円)	△ 0	△ 2
利益益配当における配当基準利回り	(%)	—	—

※個人保険+個人年金保険ベースであります。

※戻入額については△で表示しております。

※対象年度における利益配当の割り当てとなる有配当契約はありません。

⑫銀行窓販の状況

			2013年3月期	2014年3月期
変額年金保険	新契約件数	(件)	— ( —)	— ( —)
	金額（収入保険料）	(百万円)	— ( —)	— ( —)
定額年金保険	新契約件数	(件)	— ( —)	— ( —)
	金額（収入保険料）	(百万円)	— ( —)	— ( —)

※変額年金保険及び定額年金保険の販売は休止しております。

			2013年3月期	2014年3月期
一時払終身	新契約件数	(件)	22,639 ( 185.1%増)	22,732 ( 0.4%増)
	金額（収入保険料）	(百万円)	184,375 ( 254.3%増)	228,822 ( 24.1%増)
一時払養老	新契約件数	(件)	— ( —)	— ( —)
	金額（収入保険料）	(百万円)	— ( —)	— ( —)

※銀行には信用金庫を含んでおります。

※括弧内は前年同期比増減率であります。

※金額の欄には、一時払保険料を記載しております。

※一時払養老保険の取り扱いはありません。

<全面解禁商品>			2013年3月期	2014年3月期
平準払 収入保障保険	新契約件数	(件)	117 ( —)	285 ( 143.6%増)
	金額（収入保険料）	(百万円)	6 ( —)	15 ( 149.4%増)

※括弧内は前年同期比増減率であります。

※金額の欄には、1年分の保険料に相当する金額を記載しております。

その他質問項目（2014年3月期）

## ○変額年金保険等の最低保証に係る一般勘定の責任準備金 繰入・戻入の状況

		2013年3月期	2013年9月期	2014年3月期
変額年金保険等の最低保証に係る 一般勘定の責任準備金 繰入・戻入	(億円)	△ 253	△ 149	△ 244

※戻入額については△で表示しております。

以 上